

「“収穫の秋”を体験」 ～農業の定年制インターンシップ～

自衛隊札幌地方協力本部は、令和5年9月26日（火）に天候にも恵まれたなか、農業の定年制インターンシップを実施しました。

北海道でも第1次産業は人手不足が深刻なため本インターンシップは北海道庁農政部の協力も得て、株式会社輝楽里（きらり）及びAmbitiousFarm（アンビシャスファーム）株式会社（江別市）において、午前中はレタスと白菜、午後は人参とジャガイモの収穫作業を全員で体験しました。

当日は、農業体験希望の退職予定隊員3名が参加し、報道機関2社が取材に来て記者から質問を受けるなど、まだまだ若く体力のある退職自衛官が農業の担い手として期待されていること及び業界からの関心の高さが伺えました。

近年は雇用就農者が増加傾向にあり、外国人やパート作業員も多いと事前に説明があつたが、実際一緒に作業した従業員は若者が多い印象でした。

参加した退職予定隊員は、退職後の就農を真剣に考えており作業にも自然と力が入るとともに、農業における働き方や経営の実態について多くの質問をして「疑問が解消できてよかった」「収穫体験はいい経験になった」と感想を述べました。

今後も札幌地方協力本部は、退職予定隊員が適切に再就職先を選択できるよう多くの職種において定年制インターンシップを実施するため更なる計画、調整を進めていきます。



レタスの収穫をする体験者



列を組みジャガイモを収穫